

(様式1)

自己評価票

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
. 理念に基づく運営			
1. 理念と共有			
1	<p>地域密着型サービスとしての理念</p> <p>地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている</p>	<p>「家庭的な雰囲気の中でその人らしさを大切に、安全で安心できる暖かいケアを提供します。」を理念としている。</p>	<p>今後もこの理念を基にサービスを提供していく。</p>
2	<p>理念の共有と日々の取り組み</p> <p>管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる</p>	<p>リビング内や日誌等に明示し、サービス計画作成時に、個々にあわせて取り入れ、日々実践している。</p>	<p>利用者心身の状況に応じ、その都度検討している。</p>
3	<p>家族や地域への理念の浸透</p> <p>事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえよう取り組んでいる</p>	<p>地域推進会議において事業の報告やサービスの内容を報告している。その他、広報誌を町内に回覧してもらっている。サービス計画所作成後、家族へ説明し理解を得る等、毎月、利用者の生活状態の報告を行っている。</p>	<p>推進会議の実施・広報誌の継続発行をし、地域とのつながりを深めていく。</p>
2. 地域との支えあい			
4	<p>隣近所、地域とのつきあい及び地域貢献</p> <p>管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけあったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるよう努めている。事業所は地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている。また、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる。担当職員はキャラバンメイトになるなど、地域の認知症普及活動に参加している。</p>	<p>推進会議時、話題として取り上げ、地域との付き合いができる様求めている。町内散歩や買い物等、地域の方々と触れ合う機会を持てるよう心がけている。</p>	<p>推進会議を通し、今後、地域の高齢者等の暮らしに役立つ事はないか、話し合い、取り組んでいきたい。</p>

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5	<p>評価の意義の理解と活用</p> <p>運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる</p>	<p>昨年の評価結果を参考にし、更に向上できる取り組みを心がけている。</p>	<p>毎月全員出席のもと職員会議を行い、行事の他、利用者の状況に応じた処遇を検討している。</p>
6	<p>運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>3ヵ月に一度会議を開催し、行事・活動・利用者へのサービス内容等を説明し、理解を求め、助言を受けてサービスの向上に生かしている。</p>	<p>推進会議において、近隣の園芸用地を教えていただき、現在、活動に生かしている。</p>
7	<p>市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、運営や現場の実情等を積極的に伝える機会を作り、考え方や運営の実態を共有しながら、直面している運営やサービスの課題解決に向けて協議し、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	<p>特に行っていない。</p>	
8	<p>権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、地域権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している</p>	<p>実際必要な人たちはいないが、研修は受けている。</p>	<p>管理者・職員は今後も学ぶ機会を持ち、必要な人たちを支援して行ける様にしたい。</p>
9	<p>虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	<p>研修を受けた職員から報告を受け、事業所内全員が注意を払って防止に努めている。</p>	<p>学ぶ機会があれば、積極的に参加していく。</p>

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制			
10	<p>契約に関する説明と納得</p> <p>契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>		<p>入退所時、利用者・家族等に対し、契約書に基づき説明し、サインをもらっている。</p> <p>2部作成し、相互に保管。質問があれば随時対応している。</p>
11	<p>運営に関する利用者意見の反映</p> <p>利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>		<p>日々、利用者とコミュニケーションを図って対処し、可能な事柄については速やかに反映している。</p> <p>今後もコミュニケーションを大切に、随時行っていきたい。</p>
12	<p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>		<p>毎月請求書の発送と一緒に、生活状況の報告書や小遣い明細、年4回の広報誌を同封している。状態変化時は電話で報告をしている。また、面会時にも日常生活状況を報告している。</p> <p>今後も継続し、家族へ情報を提供していく。</p>
13	<p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>		<p>苦情ボックスを玄関・2階コーナーに設置している他、家族交流の行事・推進会議参加等の機会を設け運営に反映させている。</p> <p>家族との交流を図る機会を多くする為、行事を予定している。</p>
14	<p>運営に関する職員意見の反映</p> <p>運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている</p>		<p>毎月の職員会議の他、随時、意見・提案を聞き、反映につなげている。</p> <p>今後も同様に取組み、反映させていきたい。</p>
15	<p>柔軟な対応に向けた勤務調整</p> <p>利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている</p>		<p>外出・行事等、事業所以外での活動時、事故の無い様、十分な職員配置を考慮している。</p> <p>状況に応じて話し合い、職員の協力を得ながら、今後も確保していきたい。</p>

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<p>16 職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>職員間の交流を深めたり、勤務希望を取り入れる等の努力をしている。また、欠員が出た場合、関連施設より、一時補充をしている。</p>		
<p>5. 人材の育成と支援</p>			
<p>17 職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>研修へは随時参加してもらっている。</p>		
<p>18 同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>法人内の関連施設の勉強会で交流を図り、サービスの質を向上させていく取り組みをしている。</p>		<p>今後は同業種の施設とも交流を図り、スキルの向上に努めたい。</p>
<p>19 職員のストレス軽減に向けた取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための良好な工夫や環境づくりに取り組んでいる</p>	<p>勤務希望を取り入れた勤務表の作成を管理者に指示している。</p>		
<p>20 向上心を持って働き続けるための取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている</p>	<p>人事考課による能力給を導入し、各自が向上心を持って業務にあたる様になっている。</p>		<p>本人からの希望があれば、資格取得の研修会への参加も行っている。</p>

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
安心と信頼に向けた関係づくりと支援			
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応			
21	<p>初期に築く本人、家族との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに本人、家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている</p>	<p>利用者の担当ケアマネージャーと連携を密に図っている。</p>	<p>センター方式を取り入れており、更に詳しい情報を得られるよう、連携の強化に努める。</p>
22	<p>初期対応の見極めと支援</p> <p>相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	<p>居宅支援事業所のケアマネージャーが窓口となり、初期対応を行っている。</p>	<p>直接事業所へ相談にこられた場合、全職員が対応できる様な体制を取っている。</p>
23	<p>馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、職員や他の利用者、場の雰囲気徐徐に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p>	<p>家族や担当ケアマネージャーより、入所前の生活状況の情報を提供してもらい、馴染める環境作りや、精神面でのケアを心がけている。</p>	<p>今後も継続していきたい。</p>
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援			
24	<p>本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている</p>	<p>進入所者は特にコミュニケーション・スキンシップに心がけ、日常生活・活動・行事等、一緒に楽しみながらなじみの関係を築いている。その中で教えられることも多い。</p>	<p>特に園芸作業において、学ぶ事がたくさんあり、職員も一緒に作業をし、楽しんでいる。</p>

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
25 本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	家族参加の行事を企画し、一緒に楽しんでいる。		今後も家族参加の行事を企画し、共に支えあう関係を築いていきたい。昨年より始めたばかりなので、より多くの参加を呼びかけていく。
26 本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	プライバシーを尊重しながら相談された場合にはアドバイスをして対応している。		話し合いの場をもつ等、対応してるが、解決されていないケースもある。
27 馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	家族の協力も得ながら、出来る限りの支援に努めている。		歯科・美容院・外食・友人との面会等、入所後も継続できる様応援している。
28 利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せず利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	日常生活状況を見守りながら穏やかに生活ができる様努めている。		さりげなく声がけしたり、認知症を理解してもらえよう、その都度話している。
29 関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	契約が終了しても、家族や利用者の希望を聞くなどして、安心して生活できるよう支援してる。		機会があれば面会等に出かけ、交流を図っている。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
・その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント			
1.一人ひとりの把握			
30	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>日々のコミュニケーションから希望・意向の把握に努め、困難な場合は無理強いせず、状況に応じて対応している。</p>	<p>その人らしい暮らしができる様今後も取組んでいく。</p>
31	<p>これまでの暮らしの把握</p> <p>一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている</p>	<p>センター方式を取り入れ、家族・本人からの情報を提供してもらい、把握に努めている。</p>	<p>機会ある毎に情報の提供をお願いする。</p>
32	<p>暮らしの現状の把握</p> <p>一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている</p>	<p>日々、利用者とコミュニケーションを図って対処し、可能な事柄については速やかに反映している。生活状況の変化を観察記録し、活動・行事・作業等への参加をすすめながら把握している。</p>	<p>ひとりひとりの現状をより深く把握できるよう、今後も取組んでいく。</p>
2.本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し			
33	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p>現在、事業所内職員と本人家族の意見要望を取り入れている。状況に応じ、掛かりつけ医・薬剤師等の意見・アドバイスを受けている。</p>	<p>本人・家族・必要な関係者からアドバイスを受け、利用者本位の介護計画書を作成していく。</p>
34	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	<p>日々の生活の記録を基に速やかに状態の変化に気づき、現状に即した介護計画の見直しをしている。</p>	<p>今後も速やかに対応し、見直していく。</p>

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
35	個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	サービス計画書に沿って、日々の様子を個別に記入し、スタッフ全員情報を共有しながら見直しに生かしている。		個々の様子を観察し、状況変化に応じた介護計画の見直しを行っていく。
3. 多機能性を活かした柔軟な支援				
36	事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	本人・家族の希望・訴え(通院・買い物・外出)については、随時対応している。		今後も継続し、満足してもらえるよう取組んでいく。
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働				
37	地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	推進会議において利用者の情報提供を行い、理解を求め、協力を依頼している。		本人の意向・必要性に応じて地域資源を活用し、取組んでいく。
38	他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	現在のところ必要性はなく、実施していない。		本人の意向や必要性に応じて他のサービスを利用するための支援を行っていく。
39	地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	現在のところ必要性はなく、実施していない。		本人の意向や必要性に応じて他のサービスを利用するための支援を行っていく。必要に応じて地域包括支援センターと協働していく。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
40 かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	本人・家族の希望を取り入れ、適切な医療を受けられるよう支援している。		家族の協力もいただきながら、今後も継続して取組んでいきたい。
41 認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	嘱託医が2週間に1回の往診、相談できる体制ができている。		医師の指示があれば専門医の受診や治療を受けられるよう支援していく。
42 看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	往診時、顔なじみの看護職員が気軽に声をかけてくれ相談に応じてくれている。		看護職員との関係を密にし、相談しながらアドバイスを受け連携していく。
43 早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	お互いに情報交換を行い、早期退院に向け、安心して退院できる様な体制を整えている。		今後も同様の体制を継続していく。
44 重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	現在は話し合いはしていない。		家族・本にの希望があれば相談に応じたい対応していきたい。
45 重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	関連施設への受け入れ態勢が整っており、希望があれば対応している。		希望があれば、可能な限り対応していきたい。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
46 住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	詳しい情報提供の他、面会に訪れ、馴染みの関係を保っている。		機会をつくり、今後も継続していきたい。
・その人らしい暮らしを続けるための日々の支援			
1. その人らしい暮らしの支援			
(1) 一人ひとりの尊重			
47 プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	個人を尊重し、穏やかな対応を心がけている。		プライドを傷つけないよう個々にあった声かけと心配りをしている。
48 利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	日々コミュニケーションで自己決定できるような質問や声かけをしている。		利用者・職員がお互いはなしやすい関係を保っていく。
49 日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	個々の希望や訴えを受け入れ、本人のペースで生活できるよう支援している。		その日の心身の状況に応じ、希望に沿った応援をしていく。
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援			
50 身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	家族の協力も得ながら、出来る限りの支援に努めている。協力もあり、馴染みの店へ連れて行ってもらう。		利用者の希望により、職員が対応している人もいる。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
51 食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、可能な場合は利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	役割があり、それぞれ積極的に手伝い、片付けを行っている。		個々にあった可能な作業を継続できる様支援していく。
52 本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	飲み物やおやつ等、本人の好みを取り入れ、一人ひとりの状況にあわせ、随時提供している。		バランスも考慮し、楽しめる様今後も継続していく。
53 気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	排泄の記録をし、パターンを把握し、個々にあった時間で声かけ誘導を行っている。また、失敗を少なくするため、下剤の調整も行っている。		排泄の記録をとり続け、状態に応じたケアで快適に過ごせるよう支援していく。
54 入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	一応順番は決めているがその日の状況に応じて変えたり、無理のない様にすすめ、個々のペースに合わせて行っている。		関連施設での入浴会を月1回程度提供し、更に楽しめる様支援している。
55 安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	個々の生活習慣やその日の体調により、自由にリビングや自室で休息を取れるようにしている。		夜間安眠確保の為、生活リズムを崩さないよう、日中の諸活動への参加をすすめている。
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援			
56 役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	個々の能力に合った役割や、趣味活動、行事等を取り入れ、生きがいもてる生活が送れるよう支援している。		園芸・貼り絵・裁縫等、個々の能力に応じた活動を実施している。

	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
57	<p>お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>個人の能力に応じ、希望される方は本人に持っていたき、外出時はその都度支払いをしてもらっている。</p>		<p>事業所保管されている方にも必要時、いつでも対応し、職員付き添いで支払いをしている。</p>
58	<p>日常的な外出支援</p> <p>事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している</p>	<p>天気の良い日は町内散歩や、園芸作業等の機会をつくっている。</p>		<p>外出を好む方が多いので随時対応している。事業所内が狭い空間の為、今後も気分転換を図っていく。</p>
59	<p>普段行けない場所への外出支援</p> <p>一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している</p>	<p>利用者の希望を取り入れながら、季節毎の花・紅葉見学のドライブへ出かけている。</p>		<p>今後も継続していく。</p>
60	<p>電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている</p>	<p>自分で電話がかけられない方は職員が手を貸し、いつでも対応している。</p>		<p>今後も継続していく。</p>
61	<p>家族や馴染みの人の訪問支援</p> <p>家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している</p>	<p>リビング・居室・2Fホール等、自由に過ごせる環境と湯茶をすすめゆっくりしてもらっている。</p>		<p>今後も継続していく。</p>
(4)安心と安全を支える支援				
62	<p>身体拘束をしないケアの実践</p> <p>運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる</p>	<p>研修へ参加し、正しく理解している。日中は鍵を掛けず、玄関を開放している。</p>		<p>利用者・職員共に声を掛け合い、事故の無いよう心がけている。</p>

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
63 鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	玄関の施錠は夜間のみ。注意の必要な利用者は声がけや見守り対応している。		外に出たがる利用者へは、買い物・散歩・軽作業等にて対応し、一人にならない様になっている。
64 利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	さりげない見守り、声がけで様子を把握している。		安全にすごせるよう今後も継続していく。
65 注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	薬・洗剤・包丁などの刃物は保管場所を決めており、そのとおりに実行している。		利用者の希望により、職員が対応している人もいる。心身の状況に応じ、事故につながらない様対応していく。
66 事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	職員全員が研修会へ参加し、予防の知識を得て、個々の心身の状態に応じた事故防止を検討し、対応できる様にしている。		再発防止のため、報告書を作成し、今後役に立てる。
67 急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	マニュアル作成のほか、関連施設での研修、その他、事業所内外の研修も参加している。		全職員が定期的に研修へ参加し、常に対応できる体制を整えていく。
68 災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	年2回の避難訓練の他、推進会議で協力を依頼している。その他日常会話でも話題にし注意を促している。		次回の推進会議時、訓練状況を見学してもらい、地域の協力が必要とされている事を知ってもらいたい。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
69 リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にしたい対応策を話し合っている	家族へホーム内での暮らし、ホームの環境を説明し理解を求めている。		リスク対応については速やかに行う。
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援			
70 体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	日々の記録や申し送り等で情報を共有し、対応している。		申し送り簿に出勤時目を通し対応している。
71 服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	服薬については、それぞれ理解しており、変更時は申し送りで徹底、症状の観察を記録し、Drへ報告している。		薬剤師からもアドバイスを受け理解を深めている。
72 便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	食事・水分の重要性について理解を求めたり、配膳方法を工夫している。他に体操・散歩をすすめている。		水分を取りたがらない利用者には果物や好む物を摂取させ、摂取回数を調整して工夫している。
73 口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	声かけを行い誘導している。一人で出来ない方へは職員が付き添い洗面所へ誘導し、介助している。		今後も継続していく。
74 栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	利用者の食事・水分量を毎日観察している。水分補給・おやつを含め、それぞれの利用者の状態に応じた対応をしている。		朝食時、好みや健康状態に合わせ、牛乳や野菜ジュースをすすめている。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
75 感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	マニュアルを作成し、予防として手洗いうがいの励行を実施。		外出後、手洗いうがいの声かけ。食前の手洗い、消毒の実施。
76 食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	まな板、布巾等は毎晩消毒実施。調理場内の清掃等も行い清潔面で配慮している。近くのスーパーで新鮮な食材を購入している。		夏場は生もの(刺身)は控えている。
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり (1)居心地のよい環境づくり			
77 安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	プランターや庭先に草花や木を植えたり、畑を作ったりし、家庭的な雰囲気作りに努めている。また、親しみやすい看板を設置している。		今後も継続していく。
78 居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	家庭的な雰囲気に心がけ、手作りの装飾品・草花等の鉢植えの世話を楽しんでもらっている。		今後も継続していく。
79 共用空間における居場所づくり 共用空間の中には、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	リビングにはソファを置いているが、その場所以外にもくつろげる場所がある。		利用者の状況に応じて対応している。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
80 居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	入所時、自宅で使用していた物を、持参してもらい、自由に飾ったり使用してもらっている。		利用者の希望に応じ、その都度対応していく。
81 換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のだよみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	室温計を設置し、夏場・冬場、それぞれに、温度・湿度を調整し、換気にも配慮している。		今後も環境整備を行っていく。
(2)本人の力の発揮と安全を支える環境づくり			
82 身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	手すり・滑り止めマット・エレベーター設置等で工夫している。		身体機能を維持できるよう支援していく。
83 わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	各居室のドアに名前を表示したり飾り物を下げて目印としている。		さりげなく解る目印で対応している。
84 建物の活用 建物を利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	民家改修のため、少々狭いが個々のやりたい活動を工夫して行っている。		今後も活動が継続できる様支援していく。

( 部分は外部評価との共通評価項目です)

. サービスの成果に関する項目		
項 目		取 り 組 み の 成 果 (該 当 する 箇 所 を 印 で 囲 む こ と)
85	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	ほぼ全ての利用者の 利用者の2/3くらいの 利用者の1/3くらいの ほとんど掴んでいない
86	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	毎日ある 数日に1回程度ある たまにある ほとんどない
87	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない
88	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない
89	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない
90	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない
91	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない
92	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	ほぼ全ての家族と 家族の2/3くらいと 家族の1/3くらいと ほとんどできていない
93	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	ほぼ毎日のように 数日に1回程度 たまに ほとんどない

項 目		取 り 組 み の 成 果 (該 当 する 箇 所 を 印 で 囲 む こと)
94	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	大いに増えている 少しずつ増えている あまり増えていない 全くいない
95	職員は、生き生きと働いている	ほぼ全ての職員が 職員の2/3くらいが 職員の1/3くらいが ほとんどいない
96	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない
97	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	ほぼ全ての家族等が 家族等の2/3くらいが 家族等の1/3くらいが ほとんどできていない

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

今年から園芸作業に力を入れ、農園を借りて野菜を植え、秋の収穫祭を予定し、地域・家族との交流を計画している。

昨年より関連施設で入浴会を実施。

幼稚園・保育園の園児と交流をすすめている。

利用者・家族・職員が一緒に楽しめる行事を企画している。

利用者・職員とお互い馴染みの関係が築かれており、家庭的な雰囲気の中で安心した生活と個々にあった工夫された生活支援を行っている。